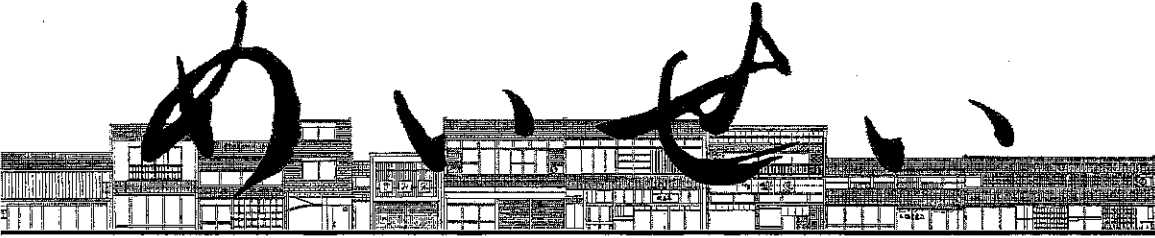


http://www.e-meisei.net

No. 66

発行 (公社)愛知建築士会名古屋西支部
編集 広報渉外委員会
名古屋市西区名西一丁目20番49号 クラ設計内
TEL(052)908-0939 FAX(052)908-0836
印刷所 株式会社 ウエルオン TEL(052)732-2227

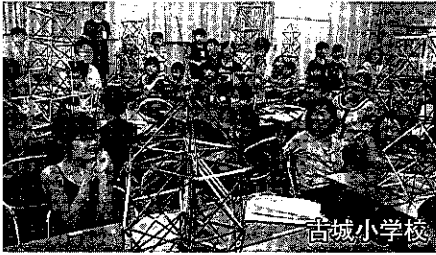


地域貢献活動
地震防災出前講座

地震に強い
まちづくりを目指して

ストローハウスを作ろう

副支部長
岡田 巖



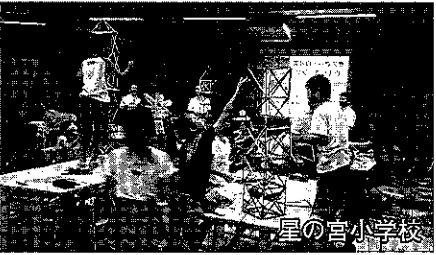
古城小学校



春日小学校



新川小学校



星の宮小学校

東日本大震災が発生してから一年半経過した今も、その傷は癒えていない状況です。建築士が地域社会の発展に寄与することを目的として、今年度支部では「地震に強いまちづくり」を目指している清須市で地震防災出前講座の取組をしている。市内8小学校の5年生を対象に、9回実施します。講師は支部長の牛田信彦氏、牧野正氏と岡田です。10月末までに8回実施。日本に住んでいる限り、地震から逃げることはできません。大きな地震と必ず出合う子供達に、地震に負けない「耐震まちづくり」を進めて、地震や耐震化のことに関心を持ってくれる事を願い、いのちの大切さ・建物の耐震化・家具等の転倒防止の必要性を子供達に学んでもらうという活動です。

1時限目(約50分)は、愛知県と、あいち耐震まちづくり教育枠組み検討委員会で発刊した「小学生向け」いのちを守る家の「たいしん」の教科書と、映像で授業を進めます。阪神・淡路大震災で被害にあった子供達と同じ位の年のお友達の作文を、生徒や学校の先生が朗読して、「いのちの大切」さを学ぶ。次に地震発生メカニズムや、地震が来たらどうなるのか、被害や避難についての大切さを学び、地震の恐さを実感してもらい、家の中の家具や電化製品、ストーブ、ピアノ等のマンガ画像を見てもらい、地震が発生するとどうなるか、子供達に指摘してもらい、できることから始めようを合言葉に対応方法をアドバイスします。家具等の固定＝「転倒防止」という言葉や、地震に負けない家＝「たいしん」という言葉も覚えてもらいます。丈夫な家にするには筋違や金物の有効な役割を伝える。筋違の有る家と無い家を震らした映像による実験で、どうして転倒したかを考えてもらいます。最後に、今日習った「耐震」や「転倒

防止」の大切さを、家庭や、お友達に、さらには近所の人にこの事を教えてあげようと締めくくります。

2時限目(約50分)は、1時限目での「たいしん」について理解してもらった後、「ストローハウス」を作ります。5～6人のグループに分かれ、太目のストロー(長、短2種類)と、クリップを繋ぎより高く、丈夫で、素敵な(美しい)建物(家)を1グループ1棟を作る試みです。最初は各人がストローとクリップでアンフレームを作成します。1時限目の筋違(長いストロー)の重要性が理解されると、各パーツの組立等、各人の分担作業がスムーズに進行する協働体制が出来てくる。中には各グループの作品を横目に覗き込み、競い合う意識も目覚めます。子供達の純朴な発想や柔軟さで、筋違を適切に配置し、2階建や5～6階建等の工夫をこらした家が出来たり、時にはユニークなデザインを追求した作品もある。締めくくりに、グループごとのコンテストを実施します。ストローハウスの最上部に、講師陣が、錘りを釣りさげ頑丈な家が出来たかどうかを確認し、同時に机を震らして地震に耐えられるかの試みを体感する。錘の釣り下げや、揺らす瞬間の子供達の満足げな達成感が響きわたります…。講座の終了です。

講師として、地震防災耐震出前講座が、子供達の記憶に刻まれる授業が出来ると、今後も建築士として地域貢献の発展に寄与したいと思えます。清須市の防災行政課では、講座を受講した子供達へのアンケート作成と回収・集計を実施している。

＜アンケート内容＞

Q1:授業の内容はわかりやすかったか?

Q2:家族みんなで地震への備えをしようと思えましたか?

Q3:地震への備えは何をしたいですか?

Q4:またこのような授業を受けたいですか?

＜アンケート結果＞

Q1:わかりやすかった・どちらかといえばわかりやすかった。97%～100%

Q2:思った・どちらかといえば思った。84%～95%

Q3:家具固定 24～37% 避難グッズ 14～19%

非常食 8～16% 避難所の確認 5～8%

耐震補強 1～3%(子供達は昭和56年以降の住まいが多い為か?)

Q4:受けたい・どちらかといえば受けたい。94～95%

主な感想

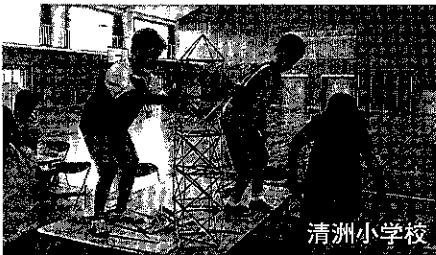
＜地震についての感想＞

- ・動画を見て、地震の恐しさが分かった。
- ・映像を見てびっくりした。
- ・地震の仕組みがわかった。

＜地震対策についての感想＞

- ・これから家族と色々な準備や話し合いしたい。
- ・我家は家具固定が出来ていない。ホームセンターで転倒防止グッズを買いたい。
- ・自分の家が地震に耐えられる家なのか心配になった。
- ・補強している家としていない家では被害がすごく違ったので驚いた。
- ・ガラスのフィルムを教えてもらってよかった。
- ・もう家族会議をいえていたので、更に備えようというものはなかった。

平成25年度も地震防災出前講座を、清須市の小学5年生全員を対象に実施予定です。



清洲小学校



西枇杷島小学校



春日小学校



星の宮小学校

北名古屋市

防災への取り組み

副支部長 伊藤 顕



北名古屋市耐震改修相談の様子

東日本大震災の発生から1年7ヶ月が過ぎました。幾度となく発生する余震もかなり収束し、地震への不安が少しずつ忘れ去られていくように思われます。しかし、そのような今だからこそ、近い将来に発生すると言われている東海地震・東南海地震に備え、もう一度防災への認識を改めないといけないのではないのでしょうか。

私が在住している北名古屋市は福祉の町のイメージがありますが、防災への取り組みにも熱心な市町村のひとつではないかと思えます。1番目に上げられるのが平成15年度より始まりました「愛知県木造住宅耐震診断事業」です。この事業はどこの市町村でも実施されていますが、北名古

屋市の申し込み件数はかなり多いほうではないでしょうか。私たち愛知建築士会名古屋西支部もこの事業に協力してまいりました。私も開始当初から参加させていただき清須市・北名古屋市・豊山町で診断をしましたが、そのうちの半数以上は北名古屋市での診断でした。多いときは市内で年間200棟程度の申し込みがあったそうですが、最近は50棟程度に減少しました。市内の耐震診断の対象となる住宅棟数8,624棟(平成20年3月時点)のうち、診断を完了している住宅は現時点で910棟だそうです。診断件数が減少している現在、更なる診断参加へ呼びかけの必要性を感じます。

2番目に上げられるのは、耐震診断を受けられた方へのフォローとして行なわれている「民間木造住宅耐震改修相談業務」です。この事業は他の市町村にはない北名古屋市の特色ではないかと思えます。診断を受けた方から、この後耐震改修をするにはどこへ相談したらよいかと聞かれることがよくあります。そのような時に、この相談会への参加をお勧めしてきました。市民にとっては無料でありがたい制度だと思います。この相談会も当支部より相談員を毎回2名

派遣しています。最近では1回につき定員6名で3人ずつ分担任して相談に応じています。午前中に改修案を作成し、午後から申込者に説明をします。なかなかハードな業務ですが、これで改修に踏み切る方が1人でも増えればと思います。

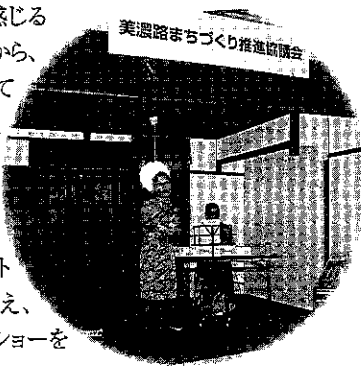
3番目は毎年実施される「総合防災訓練」です。今年は8月26日に白木小・中学校のグラウンドを舞台に大規模な防災訓練が実施されました。そこに設置される耐震診断相談窓口担当から相談員を1名派遣しています。今年度は私が窓口を担当しましたが、実施2時間で4人の方が相談に見えました。このような場所でも耐震への関心を持っていただき、診断や改修を検討していただけるよう活動しています。

実は耐震改修相談については、今年度から清須市でも実施されるようで嬉しい事です。北名古屋市も清須市のようなストローハウスを題材とした「防災出前講座」を実施し、子供から親へ耐震に対する意識を伝える手法を採用してはいかかかと思えます。今後も市民の皆様へ防災意識をさらに高めていただけるよう、地域貢献活動を続けてまいります。

美濃路ウォッチング

「ジャズの夕べ」inみのじの館 江口 眞樹

朝晩に秋らしさを感じる
10月6日(土)の夜7時から、みのじの館において「ジャズの夕べ」が催されました。清須市在住のジャズ歌手 Honami(山口ほなみ)さんとジャズピアニストの西川麻子さんを迎え、1時間あまりのライブショーを楽しく過ごしました。



このショーは美濃路まちづくり推進協議会の事業として企画されたもので、Honamiさんが、西枇杷島祭りの時にみのじの館に立ち寄られたのがきっかけです。こういった催しは協議会としては初めてのものですが、枇杷島みのじ会の協賛と、ご近所の方々のご協力のおかげで実現することが出来ました。

ショーは和やかに進み、「Fly Me To The Moon」等、アンコールを含め十数曲がくつろいだ雰囲気の中で披露されました。また、みのじの館の新館主渥美氏がこの日に合わせて館内を改修され、板張りのステージとタタミの上の聴衆が一体となった心地よいひとときを演出してくれました。

清須越四百年事業ネットワーク報告 白井 鎌造

○伝馬橋史跡説明板は10月13日(土)、現地の試験掘りを行いました。説明板の基礎が予定通り設置できるかを確認するためです。支部常議員原田さんの協力で支障なく設置できることが判明しました。12月初旬設置へ向け、手続きの詰めが行われています。

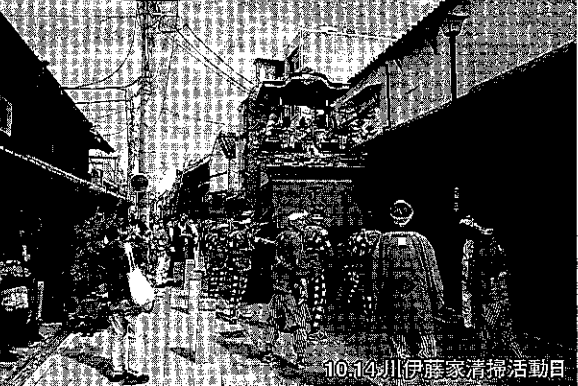
○東寺町・南寺町史跡説明板設置

「あいちモリコロ基金」平成25年度募集に、10月31日(水)応募書類を送りました。基金の正式名称は「公益信託愛・地球博開催地域社会貢献活動基金助成金」といい、愛・地球博の基本理念、「持続可能な社会の創造と21世紀社会のモデル構築」を継承発展させるに相応しい活動、「市民が、よりよい社会づくりを目的とする、自発的な社会貢献活動」に対して助成されるものです。発送にさきだち、応募書類の事前審査を受けました。内容としては、
愛・地球博理念の継承性 必要性・公益性
先駆性・先進性 発展可能性 実現可能性
費用の妥当性

の各項目について、厳しい意見も出され、募集する側と応募する側の視点はかなり違うことを知ることができました。さっそく、応募書類の訂正を行うこととなり、応募期限ギリギリのところまで発送することになりました。来年2月上旬に公開審査出場権の通知があり、3月中旬、公開審査会が行われ、助成の可否が決定されます。まだ、長い道のりがあります。

「四間道・那古野界隈まちづくり協議会」発足会と懇親会開催される 白井 鎌造

四間道には山車がよく似合う



10月15日(月)那古野一丁目にあるラーメン屋「紅金龍」で上記の会が開催されました。規約の修正案承認、代表、副代表の選任が行われ、この時点で協議会が発足することになりました。活動の目的は標記の地域まちづくり構想の策定と、実現化に関すること。会員は名古屋西支部、美濃路まちづくり推進協議会を含め14団体からなり、準会員はこの活動に賛同する個人、団体となっていますが、発足時では準会員0です。今年1月から「四間道・那古野地域まちづくり」立ち上げ団体会議が始り、10ヶ月かけてようやくスタート地点に立つことができました。

この辺りは名古屋の都心でありながら清須越以来の古いまちなみや、文化が残っています。名古屋を世界に誇る町として育てゆくためには欠かせない地域のため、地域が主体となって行政と協働したまちづくりを進めて行くことになりました。会議の後は、会員、行政担当者、アドバイザーの大学の先生を交え、懇親会が開かれ、交流を深めることができました。

観月の会に参加して 森 登



9月22日(土)みずとびあ庄内観月の会が同広場にて開催されました。来場された市民の皆さんは「月を愛でる」人もいましたが、もっぱらイベントとして家族で楽しまれていたようです。私たちは美濃路まちづくり推進協議会として、枇杷島みのじ会とのジョイント参加で、模擬店を出店しました(名古屋西支部からは12名の参加)。いか焼きではみのじの館の館長・渥美大作さんが炭起こしから立ちっぱなしの作業で、焼け具合とも大好評(ホントに建築士?)、完売でした。その他、玉せん・輪投げを行い、月よりもどちらかという幼児・児童の笑顔の方が美しかったように思います。

みのじの館改修 渥美 大作

この度、みのじの館の主(あるじ)を引き継ぎさせていただきましてEPIC一級建築士事務所の渥美大作です。

ご存じの方も多いと思いますが、みのじの館は美濃路の南側に面して建つ町屋です。町屋特有の通り土間があり、奥の中庭へ続いています。実はその中庭の奥にも建物があり、かなり大きな空間が広がっています。数寄を凝らした茶室風の部屋や中庭とは別の光庭があったりして、探検していて興味が尽きません。しかし残念ながら建物の風化・劣化が激しく、そちら側を部屋として利用するのはかなり難しい状況です。

先にみのじの館の主を務められていた中村順吉氏は、建物内の一室を利用しておられました。私も入居するに当たり、同じ部屋を利用させていただくこととなりました。部屋は中庭の北側に位置する8帖間の和室です。縁を挟んで中庭に面しており、南向きの掃き出し窓からは町屋とは思えないほど日照が得られます。

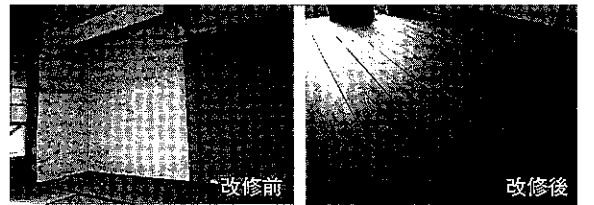
これからみのじの館は新しい主と共に新たな時を刻み始めることとなります。そこで第一歩として新たな息吹を吹き込もうと思い、私なりにアレンジをすることにしました。アトリエとしての使い勝手を考えると、畳床より板の間の方が都合良さそうです。壁は、あちらこちらに穴が空き薄汚れています。今回は自らの手で床と壁の改修を行うことにしました。

長い年月を経ることで建物は風格を帯びており、全く新しくしてしまったのではそこに宿る歴史が失われてしまいます。壊すのではなく活かすことに重点を置き、今の建物との調和をとることを考えました。出来る限り自然素材を利用し、人の手を感じることができる仕上げが建物に良く馴染むと思われま

す。既設の壁は灰色の天津壁であったため、黒くなった柱や天井と相まって、部屋の雰囲気陰鬱にしていました。やはりアトリエとしてはある程度照度が必要ですし、明るい雰囲気にした。そこで壁は補修も兼ねて白漆喰を塗り重ねることにしました。下塗り、中塗り、上塗り塗り重ねて壁は完成。素人ではなかなか平滑には塗れませんが、かえって味のある壁に仕上がりました。ひとつ想定外の収穫がありました。マスキングを行ってあったのですが、はがすと柱の汚れが一掃に取れて綺麗になりました。

床の改修に選んだのは枠組み壁工法のSPF材です。こだわったのは幅広の無垢材であること。床の高さを揃えるため、胴縁を敷いてその上にツーバイテン(2×10)を張りました。幅広の板を長手方向には継ぎ無しで張ることができます。床はオイルステイン塗装で仕上げました。柱の色と近いローズウッド色を選びましたが、節の多いSPF材の木目が綺麗に浮かび上がり、無垢板の良さを十二分に引き出すことができました。

白い漆喰壁にこげ茶色の柱・床に仕上がったアトリエは、和風の雰囲気を残しつつコントラストが映えるモダンさも漂う雰囲気になりました。自らの手で施工した手仕事の跡が残るアトリエはとても愛着のある空間に仕上がっております。

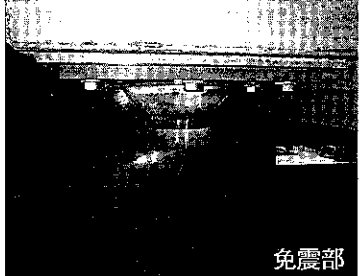


第2回 研修見学会 「レゾンシティ安城の免震構造見学と説明」に参加して 鏡 哲也



10月20日(土)レゾンシティ安城の免震構造見学に参加してきました。名古屋西支部、岡田巖副支部長の設計で構造設計者は有限会社オーディーエーの小田一之氏による14階建ての洗練されたデザインの分譲マンション(基礎工事中に全室完売という超人気のマンション)です。

開会宣言後、岡田氏、小田氏の説明で設計経緯と免震構造を勉強して実際に地下の免震層へ踏み込みました。なんとこの日のために現場監督が地下に降りやすい階段を作成してくれていました。施主、設計者、施工者の良好な関係がさらにいい建物にしていると感じました。免震層は人が普通に歩ける高さが確保されておりメンテナンスに対する配慮も十分でした。積層ゴムと鉛ダンパーを見学しながら、いろんなお話を拝聴することができ



ました。免震構造とするには、まず「納まり」が非常に大切ということ、構造設計の手法も非常にわかりやすく説明していただき大変勉強になった一日でした。

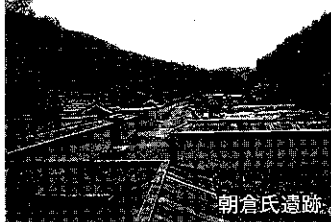


免震構造とした場合、大地震時でも建物は損傷せず、内部の家具も倒壊しないというすばらしい構造です。コストの相談が必要ですが、大地震が想定されるこの地域、大事な資産を守る手法として一考はいかがでしょうか。

平成24年度 第1回研修見学会 牛田 清文 **日本最古の天守閣丸岡城、朝倉氏遺跡、剣豪佐々木小次郎の公園**



9月8日(土)散策日和。名駅より丸岡ICへ、丸岡城へと行きました。1576年柴田勝家の甥、勝豊が築いた「雲ヶ城」の由来ある独立式望楼型2重3階で、連郭式平山城である。現存する天守閣の中で最も古く、屋根が全部



石瓦で葺かれているのが全国にも稀な特徴である。重要文化財の指定を受けている。

ガイドボランティアの説明を受け天守内部を見学、通し柱がなく、一層は二階三階を支える支台をなしている構造が、印象に残った。次に昼食後、一乗谷朝倉氏遺跡にてガイドの案内で歴史の道を散策し、戦国時代を伝える遺構、遺跡内の整備地区を見て昔を偲ぶことができました。一乗谷は特別史跡、特別名勝、重要文化財があり、まさに眠りからさめた城下町であった。武家屋敷と町屋からなる町並みが復原され、こんな

山中に、一万人都市があったとは、おどろきです。華やかな文化を開花させていた都市が推定されます。



最後に小次郎公園の散策です。生誕の地と伝えられている、今立町坂下にある高善寺全体が公園になっており、静かな山里です。ここで必殺剣法「つばめ返し」で剣豪として戦国時代に名を馳せ、剣の道に一生をかける決意し、寺を出た所です。心になにか伝わるものがありました。帰りに敦賀の日本海さかな街に寄り、無事に終了しました。御参加の皆様、ありがとうございました。

私のおすすめ

枝豆と茄子 牛蒡の味噌汁のレシピ

中島 鐘重

私の生まれた名古屋市中村区北部栄生町付近(旧愛知群栄村)には、お盆の中日(8月14日)禅宗のお盆行事お生霊さんに朝、枝豆 茄子 削り牛蒡 油揚げの入った味噌汁を供える習慣が有り一年に一度そのレシピの味噌汁を子供の頃から食べておりました。これが結構に美味しく私の好物でもあり、9月の初めに旬の枝豆と牛蒡が手に入ったので作ってみました。

この料理は下拵えに結構な手間がかかります。前日夜に牛蒡を削り朝食の米の研ぎ汁に一晩浸けてあく抜きをする。枝豆は朝調理する前に一袋ずつ皮をむき豆だけ取り出す、これが結構面倒な作業で時間がかかります。だし汁は昆布と削り鰹で煮込んで一晩置いたものを使う。茄子は四つ割にして1cm位に切り刻み、油揚げも1cm位の寛の目にこれで下拵えは完成する。

約3人前のだし汁200~250ccに先ず水洗いをした牛蒡 油揚げ 茄子 枝豆を入れて5分中強火で煮込み地の合わせ味噌を大匙小盛り、味を円やかにする為調理酒大匙2杯入れて少し煮込んだら完成、今回はブ

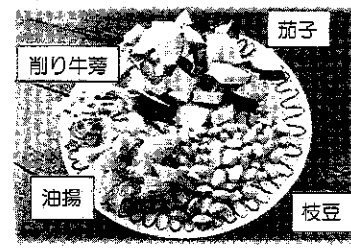
ナシメジが有りましたので最後の火を切る一寸前に少し入れてみましたがこれがシメジの香りを引出し正解でした。

みその量は少し多めでも、牛蒡や茄子が吸い取ってくれますので薄味に仕上がります。当地方は赤味噌圏ですが好みで白味噌でも構いません。

いずれにしても夏野菜の枝豆 茄子 牛蒡が旬の時期に当たり、夏の食欲の進まない時に食べる為一層おいしく感じるのかも知れません。昨今では野菜類は季節に関係なく何時でも調達出来ますが、旬には独特の美味しさが楽しめますので、時期をずらすと太刀打ちできません。たまたま新鮮な牛蒡と枝豆が手に入ったので郷土料理の醍醐味を楽しみました。時々味を忘れないうちに作って、次世代にも郷土料理として伝えねばと思っています。



具沢山の味噌汁の出来上がり

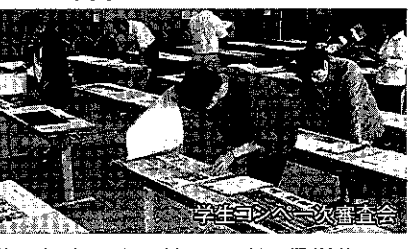


調理前の原材料

学生コンペ談義

山本 とし

10月13日(土)、第42回建築総合展NAGOYAの最終日、名古屋中小企業振興会館(吹上ホール)の9階展望ホールに於いて、第7回学生コンペ「スマートシティ豊橋2012」最終審査会が開催され、最優秀賞をはじめとする各賞を決定しました。今年の数地は、老朽化したビルが連続して水路の上に建っているという特殊な条件でした。



学生コンペ最終審査会

最優秀賞には一宮市の出身で立命館大学の市川 雅也君の作品「消えるビルの記憶」が輝きました。また優秀賞は名工大2チームの作品が入りました。最優秀作品は建物を造るのではなく、15年間をかけて段階的に壊していき、最終は公園にしていくという他にはない発想と発表の方法にほのぼのとした物語性がありました。例年通り7組の入選者が5分間の持ち時間で自作の映像と模型でプレゼンテーションを行い、発表直後、審査員からの質問を受けますが、今年は特に学生の突っ込まれ弱い体質が露呈したように感じました。ゆとり教育を受けたストライクの子供達です。「どうして?」とか「たとえば?」の質問にうまく答えられない学生。子供達が均一化されている事を実感します。審査方法は会場全員を前に討論して「賞」を決定していく公開審査を採用しています。観客も審査の成り行きを楽しめて面白いです。

今年の審査員長は石上純也氏に依頼しました。ご多忙の中、第1次審査から豊橋に来て下さり応募作品全てに目を通されました。とんでもないパワーを秘めた作品を創り出す石上氏ですが、真面目さと素朴さがあり穏やかで静かな印象の方でした。こちらの質問にもきちんと答えて下さり、とても好感のもてる人物でした。毎年世界で活躍されている方が審査員長になって下さり私達委員はコンペ委員会を続けていて良かったと思っています。来年に向けてまた活動が始まりました。興味ある方はぜひスタッフとして参加して下さい。

今年の審査員長は石上純也氏に依頼しました。ご多忙の中、第1次審査から豊橋に来て下さり応募作品全てに目を通されました。とんでもないパワーを秘めた作品を創り出す石上氏ですが、真面目さと素朴さがあり穏やかで静かな印象の方でした。こちらの質問にもきちんと答えて下さり、とても好感のもてる人物でした。毎年世界で活躍されている方が審査員長になって下さり私達委員はコンペ委員会を続けていて良かったと思っています。来年に向けてまた活動が始まりました。興味ある方はぜひスタッフとして参加して下さい。



表彰者の皆さん

山歩き同好会 “紅葉の夏焼山登山” 日井 鏡造

11月4日(日)、天気予報どおり快晴の朝を迎えました。目的地は南木曾町「大平峠奥の森」周回コース。中央道恵那峡SAに集合し、中津川ICを降り、国道19号で木曾谷を上流へ向う。田立の滝への道を通ぎ木曾川を左岸へ渡るとすぐ信号交差点を右折、国道256号に入る。飯田と南木曾を結び清内路。10分程走り左折、大平街道へ入る。1車線の狭い山道を対向車もなく、標高1358mの大平峠に到着。恵那峡SAから約1時間。

登山準備をして、9:20最初の目的地、夏焼山を目指し出発ですが登山口に熊の出没に注意とあり、熊除けのため鉄パイプを加工した鐘を鳴らして進むようにとの案内。出発早々から急登の連続。飯田側からの道との合流点、ここでも熊除けの鐘。更に急登が続く、尾根にたどり着くと、そこから平らな尾根道を進み夏焼山頂上

(1502.5m)に10:00到着。雲一つない青空の中、北から雪を戴いた穂高岳、乗鞍岳、御岳。北西に南木曾岳、南には恵那山、富士見台高原、東すぐには丸尾岳、その左側に南アルプス連山が木の間越しに見られ、パノラマを満喫。



紅葉の夏焼山登山

ここからコースは北へ向かう展望コース~摺古木コース。散り落ちた紅葉の落ち葉を踏みしめ1時間ばかりで奥石山周遊道頂点へ。落葉が進んだ紅葉を見渡せる所で昼食。そこから奥の森広場へ下り、広い芝生広場周りのカラマツの黄葉を楽しみ、ツツジコースを登り再び夏焼山頂上へ。朝の景色を再び楽しんだ後、最後のパノラマコースを下る。恵那山を前に見ながら標高を下げるに従い、紅葉の真っ只中へ。緑~黄~紅へのグラデーション。幅と奥行きのある紅葉にしばしば足を止め感動に浸りました。45分ばかりの夢のような紅葉との戯れを終え、木曾見小屋へ到着(14:20)。ここでも真っ赤になったモミジが迎えくれました。これまで人とほとんどすれ違うこともない静寂の世界と異なり、突然にぎやかな文明の中に戻りました。1台留め置いた車で峠の車を取りに戻り、15:00頃木曾見小屋を後にしました。



夏焼山山頂上

愛知県 No.1 平成23年度 1級建築士 設計製図試験 合格者占有率 67.6% 愛知県の合格者の3人に2人以上、当学院の受講生でした。 総合資格学院 結核校 TEL.052-202-1751

SMD杭 スーパーミニドリル DM工法 SMD杭工法シリーズ HITSコラム スラリ-系樹脂挿入式 深層掘削処理工法 株式会社 本陣

建築基準法解説シリーズ

令第47条の解説

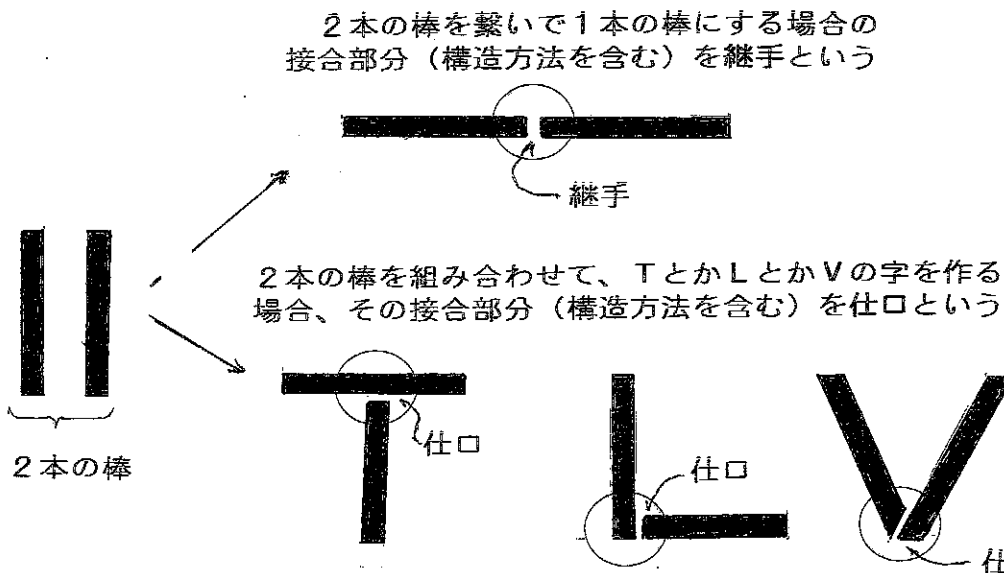
解説担当 馬場 富雄

大津波、大竜巻等の天災が続き、その対応について寄稿をしてきましたが、また本来の法令解説に戻ります。今回は令第47条の解説です。まず例によって条文を掲げます。

(構造耐力上主要な部分である継手又は仕口)
 第47条 構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、ボルト締、かすがい打、込み栓打その他の国土交通大臣が定める構造方法によりその部分の存在応力を伝えるように緊結しなければならない。この場合において、横架材の丈が大きいこと、柱と鉄骨の横架材とが剛に接合していること等により柱に構造耐力上支障のある局部応力が生ずるおそれがあるときは、当該柱を添木等によって補強しなければならない。

2 前項の規定によるボルト締には、ボルトの径に応じ有効な大きさと厚さを有する座金を使用しなければならない。

建築士の皆さん学生時代のことを思い出して下さい。建築構造は必修科目でした。そして、そのテキストの中には必ず継手の定義、仕口の定義が解説してあり、先生が詳しく説明してくれました。しかし、卒業後何年も経過するとだんだん記憶が薄れ、なかにはすっかり忘れてしまう方も出てきます。他方建築以外の職業の人でも、例えばマイホームを建てるために建築基準法を一生懸命勉強する方もあります。ところが建築基準法の条文は一般では使用しない用語がたくさん出てきます。そのため建築士にいろいろと質問をしてこられます。例えば「継手と仕口」とはどういうことですか？と問われて即答えられる建築士はというとオ……学生時代に習ったことをはっきり覚えておればよいのですが、忘れてしまってトンチンカンな返答をする人があるのです。「継手と仕口は同じですよ」と答えれば、「ではなぜ2種類の名称があるの？」とやり返されます。「継手とは？」



との問いに対して「材と材を突き合わせて、その両側に鉄板を当ててボルト数本で締め付けた部分を継手という」と答えればなんとなく説明がついたようにみえますが、これは継手の一つの方法であって学生時代に習った継手の定義を全然説明していません。こんなやりとりがないように今一度しっかりとここで復習したいと思います。

「継手とは」
 建築大辞典には「継手」の定義として次のように解説してあります。それは「部材をその材軸方向に継ぐ方法」であると。我々建築士は材料力学の基礎知識がありますからよく理解できますが、一般の方にこんな説明をしてもさっぱり分かってもらえません。そこで、私の考えた説明方法をここに図示してみました。

また、ある用語辞典には「一本の棒の長さを増すために、つなぐ部分のこと」と書いてありますが、一般の人に説明するにはこれもよい方法だと思います。

「仕口とは」
 これも建築大辞典では次のように解説してあります。「二つ以上の部材が、ある角度をもって接合する方法」であると。やはりこれだけの説明では一般の人には理解が難しいのではないかと思います。私はこれも図示による説明が分かりやすいのではと思います。

このことにより、例えば柱に2階梁が接合する部分(構造方法を含む)は仕口ということになります。

このとき柱と梁の交差角は、90°です。角度は限定しなくてよいということですから、例えば筋交いの柱、梁に取り付け所も仕口です。この一般角度でも定義は変わらないという考えを進めていきますと、部材の交差角が90°、120°、150°でも仕口です。では、180°にごく近づいたとき、それを仕口というか継手というか、それはどちらでも間違いだとは言えません。言い換えれば仕口の究極の形が継手だとも言えます。

したがって先ほどの「継手と仕口は同じものだ」という答えも絶対に間違っているとは言えないことになります。だから、継手と仕口と名称を分ける必要はないかもしれません。ちなみに、建具製作の世界では「仕口」という用語のみで、「継手」という用語はないとのことです。

建築界でも将来は「接合部分」という総称になって、継手とか仕口という用語はなくなるかも知れませんが、なにはともあれ現時点では法律の中にはっきりと「継手」「仕口」と分けて表記されていますから、我々建築士は一般の方々から質問があれば、その定義の違いをきちんと説明しなければなりません。

建築主と建築士の信頼関係でも建築主の建築に関する種々の質問に対して正確に巾広く答えることによって生ずるといっても過言ではありません。

今回は条文の中に出てきます「継手の存在応力」を伝えるという重要条件についての解説に入ります。

お知らせ

国際デザインセンターと中部デザイン団体協議会(愛知建築士会・日本建築家協会・日本インテリアデザイナー協会等15団体)、名古屋商工会議所の後援等で、設立20周年記念事業が11月14日～1月6日までナディアパークのデザインセンターで開催。11月14日は、コシノジュンコ氏と喜多俊之氏による「ステキなKURASHI」の対談がありました。12月5日～10日まで「企業とデザイナーのパートナーシップ展」が開催される。そこでデザイナーが推薦する双方の信頼関係を示す優れた作品が選ばれました。作品としては「オアシス21」やLIXILショールーム、名古屋電気学園記念館メモリアルギャラリー等の29作品がカラーパネル展示されています。その中に、岡田副支部長の作品も含まれております。

第6回 日本耐震グランプリ優秀賞受賞

10月20日に東京で行われた「第6回日本耐震グランプリ」に「次の震災被害を軽減するために」に参加してきました。その会の目的は『地震被害の軽減に特に重要な「住宅等の耐震化」、「家具の転倒防止等」に努めている自治体、企業、団体、個人を表彰するとともに、国民レベルで耐震化を推進する』となっています。今回「あいち耐震まちづくり青少年啓発事業」に優秀賞が授与され、その活動を取り組んだ名古屋大学減災連携研究センター、(公社)愛知建築士会、NPO法人レスキューストックヤードの3団体の代表として、また今年度清須市で取り組んでいる地震防災出前講座(今回のめいせい1ページ参照)を、地元建築士の地域貢献活動として実施している名古屋西支部の支部長として、名古屋大学 護(もり)准教授とともに受賞発表をしてきました。愛知県や清須市関係者の皆様はじめ、支部活動として支えていただいた会員の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

支部長 牛田 信彦



平成25年度支部役員改選について

(公社)愛知建築士会は23年4月から公益社団法人への移行をしました。本会役員との任期ずれを解消するため、本来25年度は役員改選年度ですが、調整として支部全員の任期を1年延長することを、11月13日開催された第8回支部役員会で承認されましたので、ご報告いたします。 支部長 牛田 信彦

編集後記 今回、めいせい66号は地域貢献活動、研修活動、さまざまなイベントなど支部会員の皆様の多様な活動のおかげで、多くの活動報告記事が集まり、溢れそうになるかと思うぐらいの内容でした。編集する側にとっては、とても嬉しい限りです。

来年も支部会員の皆様が、多方面でご活躍され、めいせいの誌面を賑わして下さる事を願います。そして私達編集側も、タイムリーで興味深い内容を皆様にお届けできるように努めていきます。

今年一年、執筆していただいた皆様、ありがとうございました。 牧野 正

住宅リフォーム・リニューアル工事、耐震補強工事
 集合住宅・ビル・マンション・一般住宅・倉庫・工場・営業店舗

豊かな環境を創造する

株式会社 **ムラテ**

テレビ愛知毎週土曜PM6:30
 「ホトチャンネル」CM提供中

URL <http://www.murate.com/>

〒453-0861 名古屋市中村区岩塚本通1-51 TEL052-411-8111 FAX052-413-1036
 津島(営) TEL 0567-31-0780 名岐(営) TEL052-400-1291

Total Media Support

WELL ON 株式会社 ウェルオン

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目21番31号
 TEL 052-732-2227 FAX 052-733-3178
 URL <http://www.well-on.co.jp/>

16190101(04)